

事務事業名	霊園維持管理事業										事務事業No.	661 - 2					
1. 基本情報																	
担当部	担当課			担当係		作成者職名		作成者氏名		所属長職名		所属長氏名					
都市建設部	都市計画課			都市政策係		主任		山下 慶		課長		城戸 健児					
施策体系	総合計画	政 策	6	都市基盤・生活基盤													
		施 策	6	公園・緑地の整備													
		基本事業	1	安全・安心な公園・緑地の整備													
	その他の計画		個別計画		-												
根拠法令・条例・要綱等		飯塚市霊園条例															
事業開始年度		昭和53年		事業終了年度		継続		事務事業類型		施設維持管理事業							
実施手法		全部直営		補助金等の支給		なし		実施計画期間		-							
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）																	
概要	霊園内公共スペースの美観保持や区画貸出に係る事務手続き等、飯塚霊園の管理運営を行う。																
対象	働きかける相手・もの	飯塚霊園利用者															
手段	方法・働きかけ（活動指標）	総区画1,920件の貸出、維持管理、埋蔵届などの各種手続き事項の受付・許可等を行う。															
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	適切な維持管理により快適に利用できる墓苑環境を提供する。															
3. 活動指標（決算成果説明書と連動）																	
指標名		単位		指標の説明（算式等）				前年度実績		本年度実績		次年度見込					
利用件数		件		墓地区画の使用者数				1,909		1,911		1,910					
承継・埋蔵等の事務手続き件数		件		年度内に処理した各種手続きの件数				232		173		130					
4. 成果指標（決算成果説明書と連動）																	
指標	墓地区画の使用数	単位	達成目標値				前年度実績		本年度実績		次年度見込						
		基	1920		目標値		1920		1920		1910						
説明	墓地区画全1,920区画の内使用している数	方向性	達成目標年度		実 績		1909		1911								
		維持	毎年度														
指標		単位	達成目標値				前年度実績		本年度実績		次年度見込						
					目標値												
説明		方向性	達成目標年度		実 績												
指標		単位	達成目標値				前年度実績		本年度実績		次年度見込						
					目標値												
説明		方向性	達成目標年度		実 績												
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）																	
経費区分	一般会計	義務的経費・経常経費						特別会計	-								
予算科目・事業	会計	1	一般会計			款	4	衛生費	項	1	保健衛生費		目	4	環境衛生費		
	大	99			その他の環境衛生費			中	6			霊園維持管理費			他	2 事業	
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)		前年度実績(千円)		本年度実績(千円)		増減理由(10%以上の場合)				次年度予算(千円)						
	正職員		0.53	人	4,212	0.58	人	4,724	増減比：▲11.5% 令和5年度に実施した街路灯LED 化工事を令和6年度は行っていないため。				0.34	人	2,769		
	任期付職員(保育士)		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0		
	任期付職員(子ども家庭支援員)		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0		
	任期付職員(CW・水質)		0.10	人	363	0.05	人	198					0.05	人	198		
	再任用フル		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0		
	再任用短		0.10	人	350	0.10	人	358					0.00	人	0		
	1級フル		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0		
1級パート		0.45	人	945	0.50	人	1,315	0.10					人	263			
2級パート		0.40	人	1,098	0.40	人	1,371	0.35	人	1,200							
人件費計(A)		6,968		7,966						4,430							
事業費	直接事業費(B)		12,960		9,663						14,332						
	総事業費(A+B)		19,928		17,629						18,762						
直接事業費のうち の主な歳出内訳	委託料		5,203		5,424						6,000						
	積立金		990		1,954						1,650						
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)		2,990		5,542						4,972						
	国・県支出金		0		0						0						
	市債		0		0						0						
	一般財源		8,811		8,692						9,138						
その他()		8,127		3,395						4,652							

6. 事務事業の事後評価★		
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価	低い	承継を行う使用者が比較的多く、また新規造成の予定がないため、事実上対象者が固定されている。 また、近年墓地ではなく納骨堂などの需要が高まっていることから、今事業の継続が妥当であるとは言いきれない。本事業は、必ずしも行政が行う必要はなく、運営に関して民間を活用することも可能であるが、個人情報等の取扱いの観点から十分に留意する必要がある。
効率性 評価	高い	予算の範囲内で、通常の維持管理や老朽化に伴う修繕・改修工事を行っている。事業費抑制のため最低限度の維持管理のみ行っているが、施設の老朽化や雑草の繁茂等、美観に対する苦情も見受けられる。しかし、利用者負担は当初貸付時に徴収した永代管理料・使用料のみであり、民間の類似事業に比べて比較的安価であるため、提供するサービスの質も負担に応じたものとなっている。
有効性 評価	高い	霊園施設の老朽化に伴い、昨年は予算内でポンプや配電盤、給水管の工事や修繕、照明灯のLED化を行った。令和7年度も予算内で残りの照明灯のLED化を行う予定だ。本霊園は、飯塚市が運営する霊園であり、貸付当初に使用者より永代管理料・使用料を徴収しているため、今後も霊園の基金を使い、飯塚市が運営していく必要がある。

7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	施設の老朽箇所について、早期の予防措置により通常予算の範囲内での補修を心がける。
一次評価	現状維持		
	コストの方向性	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策	一般供用の開始から40年以上が経過しており、施設の老朽箇所が随所に見られるため、年次計画を立て、大規模修繕を行う必要がある。併せて、先進地視察等を実施し、指定管理者制度等を含めた民間の活用も検討していく必要がある。
	現状維持		
前年度改善策に対する実績 ★		※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入	

築38年となっている飯塚霊園の管理棟は、施設のバリアフリー化や収納倉庫の不足、老朽化などが問題点となっており、大規模改修案を提案した。金額面で大規模改修は行わなかったが、問題点は変わらないため、よりコストパフォーマンスの高い方法を検討していく必要がある。また、霊園利用者に支障をきたすことがないように、今年度老朽化により破損した給水ポンプに関しては、修繕を実施した。

8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と運動）★	
〔成果〕	現在、飯塚霊園の管理棟のバリアフリー化や収納倉庫の不足、老朽化などが問題点となっており、それらを解決するため管理棟の大規模改修を提案し、問題点を明確にした。区画については修繕箇所の把握・修繕を行い、新規使用者募集区画に追加し、新しい使用者を確定させることができた。また、ポンプについては老朽化により異常が生じた箇所を修繕し、飯塚霊園の適切な運営を行った。
〔課題〕	築38年の飯塚霊園管理棟は金額面で大規模改修案は不採用となったが、問題点は明確となったため、よりコストパフォーマンスの高い方法を検討し、問題点を解決していく必要がある。

9.今後の事業の方向性と改善策		
成果の方向性	〔理由〕	予算の範囲内で使用者のいない区画の修繕を行い、新使用者募集区画に追加し、使用者を確定させた。 また、老朽化によるポンプの修繕も行った。
現状維持	〔理由〕	
コスト投入の方向性	〔理由〕	飯塚霊園基金を使い、予算内で老朽化による破損箇所の補修・修繕を行っていく。
現状維持	〔理由〕	
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★		
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	一般供用から40年以上が経過しており、霊園利用者の高齢化が進む中で、名義人が死亡して誰も管理をしていない無縁墓地が発生している。使用者調査を行うとともに、窓口や電話で使用者が死亡したり管理するものがないといった相談に対して、名義変更や返還の手続きを案内し、適切な霊園運営を行っていく。	
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	飯塚霊園管理棟のバリアフリー化や休憩所としての機能を満たせていないなどの点を明確にしたため、より良い方法を検討し、実行していく。	

評価変更理由	成果の方向性	今後の墓じまいを見据えて、霊園の維持管理規模は縮小とする。 管理費の徴収、及び、民間活力導入に伴う歳出改善と歳入の確保により、コスト削減に努めること。
	縮小	
	コスト投入の方向性	
	縮小	